



←今回の選挙は不在者投票が多かったが、雨について投票に来る人もけっこう多かった。それだけ関心が強かったのだろうか？

→たった一日の晴天。この日はお客さんの出も多かった。

雨の中、今日は衆議院議員選挙の投票日、と同時に矢切神社の秋祭り。

今週は雨が多かった。十八日の水曜日が晴れただけで、先週の十三日の金曜日からずっと雨が降り続けている。

そのかん選挙運動が続いていたわけだが、テレビや新聞の報道と違って矢切の渡し周辺では、街頭演説もないし静かなものだった。

「オレは嫌いだ、あの女だけは……」
矢切の渡しにいと、どこからともなく、そんな声が聞こえてきた。

やはり選挙運動は、どこかではやられていたのだろう。矢切の渡しに乗りこにやって来る人たちは、ひそひそ話をしている。

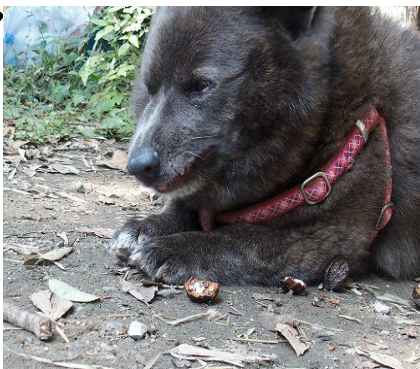
「そうだよ、あの偉そうな口の利き方なんか、大嫌いだよ」

どうやらお客さんたちの話題はもつぱる希望の党の代表・小池百合子さんのことを話しているようだ。

私も思う。東京都知事選にでたときも私はあの女にはやらせたくなかったが、いかんせん川向こうのことなのでどんなに叫んでも届かなかった。

今週のクマ

→クルミを二つに割ってやると、クマは口でかみ砕いて食べる。



→毎年、21~22日は矢切神社のお祭り。選挙はそんなこととは関係なしに決められた22日に行われる。そして台風も関係なくやって来る。



あんのじよう小池百合子知事になってから、やたらに外部の人間を連れて来て調査委員会などをつくり、いかにもやっているように見せて結果はなにもだせていないではないか。

たとえば築地問題。小池都知事の誕生前に森喜朗オリンピック組織委員会会長のもとで決まっていた築地を豊洲に移転してその跡地にオリンピック関係の車両を止める駐車場にするという決定をつついてみただけで、結果、知事の出した結論は築地を駐車場にし、その後で考えるというもの。ようするに、ちよつとごねてみせただけではないか。

そんな女が都知事をやりながら国政もやるそぶりをみせたが、現実はそのあまくはない。勢いよく党を結成してはみたものの保守政党をぶち壊して、安倍一強政権をバックアップすることになったのではないだろうか。

結果、安倍政権は信任されたと好き放題をやりはしないか、それがいちばん心配だ。「森・加計」問題も国民が私を信任してくれたのだから、もう説明する必要ない、などといいはしないだろうか。明日は超巨大台風襲来とか。心配だ。